教育随想

教育における

"平等"の落穴



向と、どこか軌を一にするものであろ レベルの複雑な諸要因(民族、人種、 式的なアジア認識に陥ってしまう傾 してしまって、きわめて観念的かつ図 種族、宗教、風俗、習慣など)を捨象 ジア社会の茲底に存在するローカルな 面する各国の国民形成の問題)

(東京外国語大学的教授) 中嶋 嶺雄

ような気がする。 ップは、いまや厳いがたいものがある 身の上相談を受けるときに感ずるギャ 間にわたって可能なかぎりの接触を保 っていた学生たちであっても、 つの喜びだが、演習と卒論ゼミと二年 ってくれたことは、大学教師として一 つの選択肢に直面した学生たちから みなりっぱな卒業論文を提出してい 人生の

があった。 殿近も二つのショッキングな出来事 その一つは、大学院への進学か、



て巣立っていった。 際関係論)の学生たちは就職を目ざし ているが、今年も私のセミナール 私自身もいま新学期を迎えようとし

2

干干 元七四十七日二

5

教育にかんする論識がまた高まって

れがちのようだ。 だが、とかく論説はこうした方向に流 ドグマチックで社撰なものはないはず 日教組、体制対反体制という図式ほど こと教育にかんするかぎり、 するという人間行為なのであるから、 遠し、彼らの社会化と人格形成を育成 しは未成人にたいして知識や情報を伝 教育とは古今東西、成人が幼体ない 文部省対

そのものがつい猛いでしまうのであろ とも人間的な行為であるという価値観 的なきびしさと牧歌性のゆえに、もっ た社会においては、教育は、 もっとも、今日のようなギスギスし その本来

通なリージョナルな課題(たとえば当 ジアを考えてしまい、アジア諸国に共 というグローバルな枠組だけでついて れ米中接近だ、やれベトナム和平だ、 アジアの国際環境を考えるときに、や

だが、そのような動揺は、ちょうど、

たして教師にポストを得られるのか、 交官試験を目ざすかで迷っていた学生 と質問してきたことであった。 大学院へ進学したのち、自分がは

るのか、自分は編集局長ぐらいにはな ことであった。 れると思っているが、と質問してきた してある通信社に就職の決まった学生 他の一つは、ジャーナリズムを志望 将来、どうしたら社の幹部になれ

さと空しさに胸がつまる思いでもあっ なかったことはいうまでもない。寂し だけに、彼らが学生のうちから真剣な てきたことに、私は啞然とし、言葉が 顔付きでこのような質問を私にぶつけ いずれも優秀で真面目な学生である

けのことである。

は女性だから、夫君についていっただ シドニーへ赴任した。もっともその人

私の教え子が好近オーストラリアの

外国人は気の毒だとあった。あちらの

彼女からの手紙に、日本にきている

人たちの心暖まる接し方と比較して、

存であるらしい。 ことで驚くのは私のほうが、どうも野 生きるための効率がまず支配している きようとする者の気機よりも、社会を ことを知らされたが、いまさらこんな そこには、学問への情熱、ベンに生

語のように唱えられ、学校群制度が次 錯した今日の風潮のなかで、他方では、 格者の学校別ランキングを年々ますま 等な試練の機会であるのに、その入試 教育の機会均等とか平等とかが流行 す派手にきそって報道しあらという倒 の幣害のみを強調するマスコミが、合 入試とは、人生でほとんど唯一の平

脳生理学の本で、夢のことを勉強して

いる。その話題をひっさげて訪ねてく

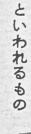
ちたいと、旧知の人に対するかのよう 細君があらわれた。どんなお役にも立

だ。しかもそのオーストラリア人は、

という誤った。平等。観がまんえんす 率だけを見出そうとするのではなかろ ればするほど、若者たちは、人生に効 賞品は一等も五等も参加賞として同じ 次に導入され、小・中学校の運動会の

考えている。 の思想」などでは決してない、と私は "平等" 観に基づく薄っぺらな「参加 教育の理念とは、そのような誤った

人間関係





三石

(科学評論家)

うともかぎらないだろう。 う見方もありうるかもしれないが、そ 性だからそんな気易いことが可能とい 肉迫する。どちらも三十歳前の若い女

掘りさげることをやっているのだが、 れわれはむしろ日常的にこれを使って らいってしまえば、われわれ日本人は の资料を提供する形となった。結論か ということだ。 真の人間関係を知らないのではないか このオーストラリア美談はそこに一つ いる。私は最近、このことばの中身を 人間関係ということばがあって、

りにもつめたいという意味なのだ。 日本人の外国人に対する接し方があま

彼女が居をかまえたとたんに隣家の

みない傾向がありはしまいか。 われわれ日本人は、相手を人間として の人間関係などありようがあるまい。 相手を人間としてみないかぎり、真

タクシーに乗れば運転手がいる。

そのゼロを知りつつ隣人は人間として

教え子のほうは英語はゼロに近い